

## 高陽東高等学校の特色ある授業の紹介（1学期・6月分）

### 「郷土の風土と文化」（地歴・公民科）

6回：令和元年6月4日（火）3～4限

「古代の生活② ～祈り～」

講師：広島県立歴史民俗資料館

学芸課長 西村 直城 先生

「勾玉」という言葉は知っていましたが、古くは縄文時代からあったこと、石だけでなく様々な材料で作られたものがあることなど知らなかったことが多くありました。作り手の想いや願いが込められているこうしたモノは人間らしい行為なんだろうと思いました。勾玉づくりは思っていた以上に難しく、根気のいる作業でした。ただ、完成した時はとても充実感を感じました。考えてみると、最近何かに想いを込めるという行為をしていないなあと思いました。人間らしさを忘れていたのかもかもしれません。



根気のいる作業です



完成!!

7回：令和元年6月18日（火）3～4限

「古代の生活③ ～土器炊飯～」

講師：広島県立歴史民俗資料館

学芸員 岸本 晴菜 先生 川邊 あさひ 先生

家では炊飯器のぼたんを押すくらいで「お米を炊く」ことはほとんどありませんでした。ましてや、「お米を研ぐ」ことなど今までやったことはありませんでした。「無洗米」などもあり、「お米を研ぐ（洗う）」という行為自体、日本語の誤用とさえ感じるのが現状です。たしかに、火の強弱を気にしたりするのは、大変でしたが、炊き上がったお米は、炊飯器で炊いたものよりも随分香ばしく、美味しいと感じました。多少の手間を気に留めることなく、こうした古代の生活様式を実践し、身に付けていきたいと思いました。



お米研ぎ



とても美味です

8回：令和元年6月25日（火）3～4限

「中山間地の利活用 ～間伐材を使った木工～」

講師：木こり屋 BUNBUNBAUM のみなさん

広島県の土地の70%以上が「林野地」といういわば森や林に分類されるということに驚きました。「林だらけ」といってもいいほどの割合だと思います。しかし、そうした林野地はいわゆる田舎、中山間地域とよばれる地域と重なっており、「過疎」などの問題を抱えています。広島県の大半を占める、中山間地域と重なる「林野地」の資源がうまく活用されれば、そこは「宝の山」ともなり、過疎などの問題も解決につながるのではないかと思います。中山間地域対策は広島ならではの課題でもあり、これからも注目していきたいと感じました。

